

令和2年2月25日

保護者 様

市川市立塩浜学園
校長 藤井 義康

学校評価の結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃より本校の教育活動につきましては、ご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。
さて、12月にご協力いただきました学校評価の結果を、以下の通りご報告申し上げます。
学校では今回の結果を踏まえ、教育活動や教育環境の充実に努めてまいりますので、今後も家庭・学校・地域の連携のもと、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

1 結果の項目について

- 学校評価の結果は、アンケートの項目（「1 確かな学力」「2 豊かな心」「3 健やかな体」「4 信頼される学校」）ごとにまとめています。
- アンケート項目について、今年度の学校評価から新たに加わったものは「R元新」と記載してあります。

2 アンケートの結果について

- 保護者アンケートの結果は、本年度前期（令和元年10月まで）、及び小中別の市内平均後期（市内共通の設問項目）と比較できるようにグラフ化しています。
- 児童生徒アンケートは、保護者アンケートと同じ内容の結果を比較できるようにグラフ化しています。保護者アンケートに含まれない内容については、本年度前期と比較できるようにグラフ化しています。

3 自由記述について

- 自由記述は、基本にご記入いただいた内容をそのまま掲載しています。ただし、記述文の中に「1 確かな学力」「2 豊かな心」「3 健やかな体」「4 信頼される学校」の項目が複数含まれている場合には、項目ごとに文を区切り、それぞれ記載させていただきました。
- 個人や学級等が特定できるような内容については、一部を削除もしくは、掲載を差し控えさせていただきます。なお、記載者が関係する学年等のみに係る内容も多くありますが、全てを学校運営の一部と捉え、学年の記載をせずに掲載しています。
- アンケートの回収率は72.9%、そのうちの自由記述の記載率は23.0%（全体比14.9%）となっています。具体的なお意見をいただき、ありがとうございます。

4 学校運営協議会の意見について

- 学校運営協議会の意見は、令和2年2月15日開催の第5回学校運営協議会において、「(1) アンケートの結果」及び「(2) 自由記述」「(4) 現状の分析及び学校運営改善の方向性」を踏まえ、ご協議いただいた内容を記載しています。

5 現状の分析及び学校運営改善の方向性について

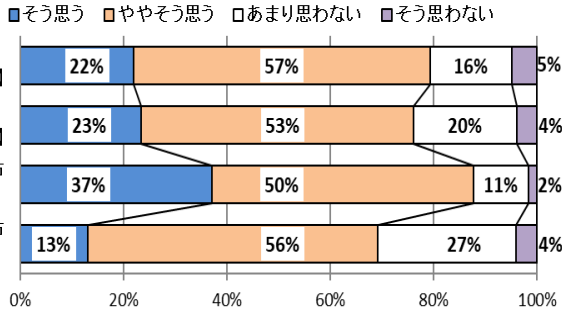
- 現状の分析及び学校運営改善の方向性は、「(1) アンケートの結果」及び「(2) 自由記述」、「(3) 学校運営協議会の意見」を踏まえ、現状の分析及び改善の方向性を示しています。
- 自由記述の個別案件については、しっかりと受け止め、校内全体で情報共有を図ります。そして、「学校の役割」、及び「学校ができること」を総合的に勘案して個別に検討を進め、必要な改善を教育活動の中で具体的に進めてまいります。
尚、具体的な質問については、一部対応を※で記載しています。

1 「確かな学力」について

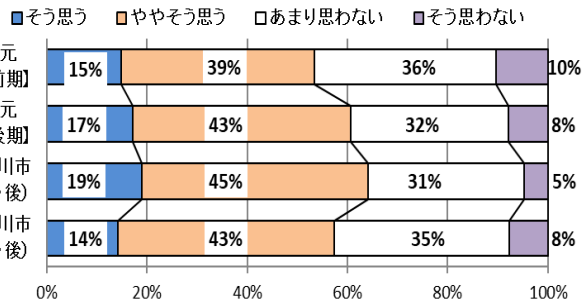
(1) アンケートの結果

保護者

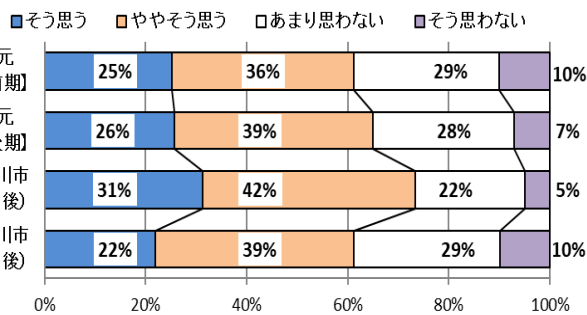
1. お子さんは、授業が分かりやすいと言っている



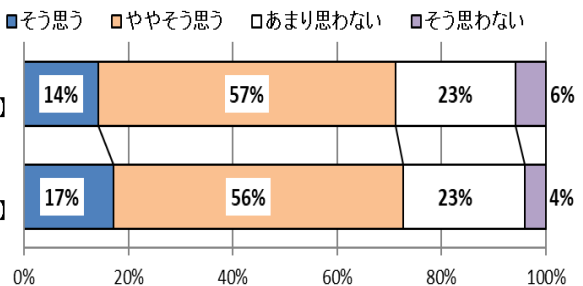
2. お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる



3. お子さんは、家庭学習の習慣が身についている

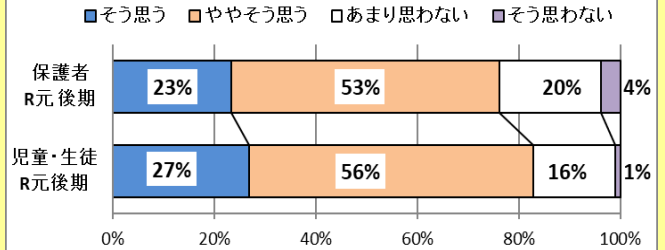


学校は、子どもの基礎学力の定着について、きめ細やかな指導を行っている

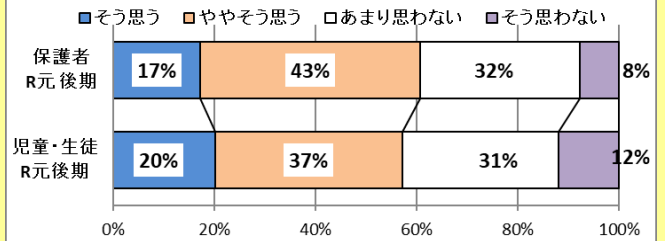


児童生徒・保護者

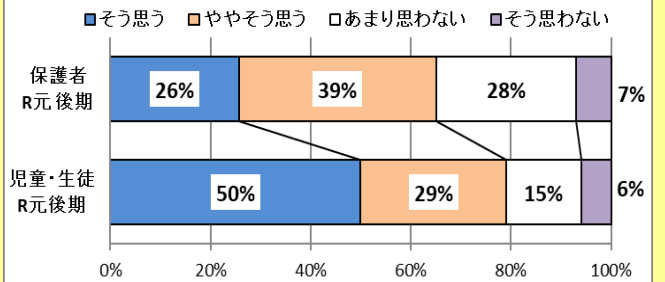
1 授業がよくわかる



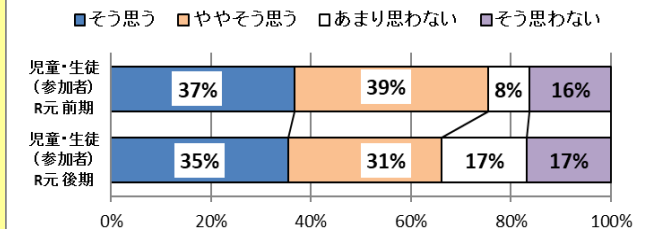
2 わからないことがあるときに、本やパソコンで、自分から調べたりする



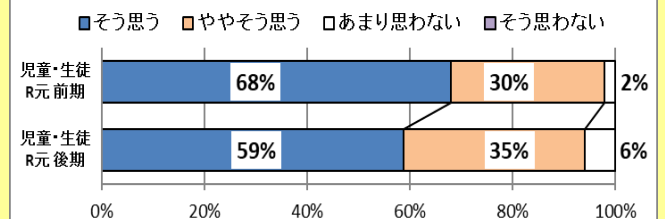
3 毎日、家で勉強をする



しおかぜ教室・まなびくらぶに参加して、勉強がわかるようになった



授業に担任の先生と専門の先生がいるので、学習がよくわかる



(2) 自由記述

学習指導

- すでに始められていると思いますが、新聞を教育活動に活用するNIEを通して、現在、日本や世界各国で起きていることを知り、地球規模の課題解決を目指す人材を育てる必要があると思います。政治、経済、産業、科学、技術、スポーツ、ビジネスなど各分野を横断した「総合智」を身につける教育をより一層拡充していただければありがたいです。
- 英語でのコミュニケーション能力が豊かになる取り組みを増やした方がこれからの時代にはよいと思う。
- 学習進度について、12月によろやく「下」の教科書に入ったと聞き、進みが遅すぎると思いました。どの学年も近隣の学校より遅れているようです。昨年も12月～3月にあわてて残っている学習を消化した印象があり、子供の理解度が心配です。遅れる原因をきちんと考えて対策をしてください。
→(※授業の進度については、年度末に向けて各学年の指導内容について適切に対応いたします。次年度、前期課程(小学校)が新しい学習指導要領の完全実施、令和3年度に後期課程(中学校)で完全実施となります。指導内容も増え、今まで以上に授業時間の確保が求められる中、次年度以降は、行事の削減や見直しを図りながら授業の充実に努めてまいります。)
- 学力に差があるように感じます。少人数クラスを作る、補習をする等あるといいなと思います。
- メインの教科担当の先生の他にサポートの先生がいる教科もあるようですが、合っているのに「間違っている」と指導されたことがありました。指導法は統一すべきだし、解き方、考え方が合っているのに違うと指導するなら助手の先生は必要ないと思います。習っている生徒が混乱します。
- 地域によってはクラス全員で漢字検定を必須にする取り組みのある学校もあります。塩浜学園も小規模の特色を活かし、是非検定試験を必須にする等、検討いただければと思います。
- 漢検、英検を受けやすい環境(慣れた教室、会場で受けられるので緊張緩和になる)になったことはよかった。
- 定期テストを1日に3教科くらいにした方がいいと思います。1日5教科は大変だと思います。近隣の中学校は2日に分けて実施しているが、1日5教科にするのは理由があるのでしょうか。
→(※本校では定期テストを年間4回実施しております。そのうち2回は5教科(国・数・英・理社)のみ、残り2回は9教科で実施しており、9教科実施の際は2日間に分けて行っています。授業時数の関係もあり、5教科のみの場合は1日で実施しています。)
- 定期テスト前に土曜日に授業があった学級があったと聞きました。それに対して、学校では意欲があつてよいと評価をし、他のクラスもやればよかったというような説明があつたそうですが、他のクラスの生徒たちはそれで納得したと思いますか?公平性、平等性に欠けているとは思いませんか?他のクラスに声をかけるとか、他に方法はいくらでもあつたのではないのでしょうか?これでクラス平均点が上がったとしたら問題視されても仕方がないのではないのでしょうか?学校が不平等では困ります。→(※学校として共通理解の認識不足で、特定の学級だけが、土曜日に集まって学習をしました。自主学習という形で、授業は実施していませんが、子どもたちや保護者の方に不信感を与えてしまい、申し訳ありませんでした。学校としては、試験前諸活動停止期間は、7～9年共通の放課後の学習会以外はすべての活動を停止しております。今後は、学校全体で共通理解を図り、このようなことがないようにいたします。)
- テスト前の課題提出率が悪いので、なくなったと子どもから聞きましたが、嫌なことから逃げ出せるのは、社会人になったときに悪影響では。最後までやり遂げる力を身につけさせてほしいです。与えられた勉強はしますが、自ら勉強する力がありません。なぜ勉強しなければならないのか、考えさせてほしいです。(答えはそれぞれ異なると思いますが。)
- 前期校舎での放課後学習(潮風教室)は、とてもありがたく今後も参加させていただきたいです。これからも続けて欲しいです。
- 分からないところがそのままにならないような学力別授業、補習等があるといいなと思いました。せつかく人数が少ないのでそこを生かしてできるとありがたいです。
- 中学生対象に自習ができるような場があればいいなと思います。地域の方に協力をしてもらって無料の塾のようなものがあればうれしいです。少人数なので、これからますます増えるかもしれない外国籍の子にも目を配ってほしいと思います。
- 夏休みや冬休み等に、7～9年生の希望者を集めて「まなびサポート」等をお願いできると助かります。1～6年生向けは活動されているとお聞きしましたが、ぜひ、一週間や3日間等、短期集中で実施してもらえるといいなと思います。
- 休んだ分の勉強を遅れない為の指導をしていただければよいと思います。
- 1Pノートは、ほぼ365日ありますが、土日は休ませてあげたいな～と思ってしまいます。部活もとても多忙なので土日もしくは日曜だけでも何も無い日があるとホッとします。
- 毎トレノートが家庭学習のきっかけになっていると感じます。

| | |
|----|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・毎トレノート、テスト期間のときは一時的にお休みにしていただけると、その分、テスト勉強に時間をとれるので助かります。テスト期間時は心にゆとりがなくなりそうで1P ノートも丁寧に組み立てないようです。 |
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ・テスト1日前にテスト範囲と提出物範囲を増やさないでほしい。 ・テスト後のレポート提出「出しても出さなくてもよい」口頭でのあいまいな指示はやめてほしい。早い期限は成績に関係するからだと思うが、そこまで考えられない子は不利になる。 ・塩浜ふるさと防災科の授業で、お隣にある野鳥観察舎をもっと活用したらよいと思う。 |

(3) 学校運営協議会の意見

- ・授業進度の遅れが心配。後半に宿題が増えているような気がする。授業の内容や進度等について保護者会等であらかじめ保護者に説明等があれば理解される。
- ・ICTを活用した家庭学習用ドリルの導入はありがたい。パソコンがあるため、興味深く活用しているが、パソコン等のない家庭へどのように対応していくかが課題。
- ・希望者による土曜日の学習登校があるとよいと思う。例えば、入試の直近の土曜日などに、入試対策の一環として、国語・数学・英語など自分でやりたい教科に取り組むなど。

(4) 現状の分析及び学校運営改善の方向性

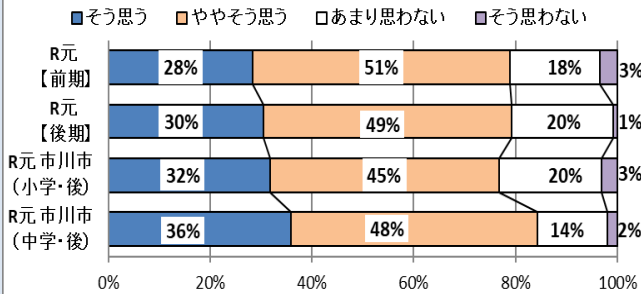
- 「授業が分かりやすい」ことの保護者の肯定的評価は、前期比でやや低くなっています。特に、児童生徒の否定的な評価が17%いることを真摯に受け止め、今後も教師の授業力向上に努めてまいります。また、2回の学力テストの結果を分析し、学習面における児童生徒の課題の把握に努め、基礎・基本の習得、学力の向上を目指していきたくと考えています。
- 「分からないことを自分から調べる」ことについては、前期比で高くなっています。児童生徒の肯定的評価も、前期に比べ9%高くなり、57%となりました。これは本校独自の教科である「塩浜ふるさと防災科」の取り組みや、各教科における「調べ学習」の取り組みの成果が表れてきたものと考えられます。今後も、各教科指導や塩浜ふるさと防災科をとおして、学習に主体的に取り組む態度の育成を図っていきます。
- 「家庭学習の習慣」の保護者の肯定的な評価は前期比より高くなっています。しかし、前期の学校評価と同様に、保護者の肯定的評価65%に対し、児童生徒の評価は79%と大きな違いがあります。家庭学習については、1日1ページノートの在り方を含め、見直しを図る予定です。家庭学習の習慣化は、学力の定着に向けて大切な役割を果たします。今後、本校の児童生徒の実態に応じた家庭学習の在り方を検討し、家庭学習の習慣化を図る取り組みを実施いたします。
- 「きめ細かな指導」の評価（保護者の評価のみ）は、前期比で若干の増となっています。本校では、授業を2名の教員で行うティームティーチングを主に展開していますが、ティームティーチングだけでなく、少人数学習（学級をさらに2つに分ける）、習熟度別学習（学習の習熟度に応じたグループを編成し少人数で授業を展開する）なども視野に入れて実施したいと考えています。
- 「まなびくらぶ」等の否定的な評価（参加児童のみ）が、前期評価より10%増加しました。対象学年や実施回数、教える側の人数の確保等、今回の評価結果を踏まえ今後の在り方について検討していきます。また、後期課程の生徒への「まなびくらぶ」の在り方も合わせて検討していきます。
- 「教科担任制によって授業が分かる」（5・6年児童の評価のみ）の否定的な評価が、前期比で4%高くなっています。前述の「きめ細かな指導」にも関わりますが、今までのティームティーチングという授業形態よりも、他の授業形態をとることで、効果が見られる可能性もあります。今後も5・6年生については、教科担任制を継続、推進します。

2 「豊かな心」について

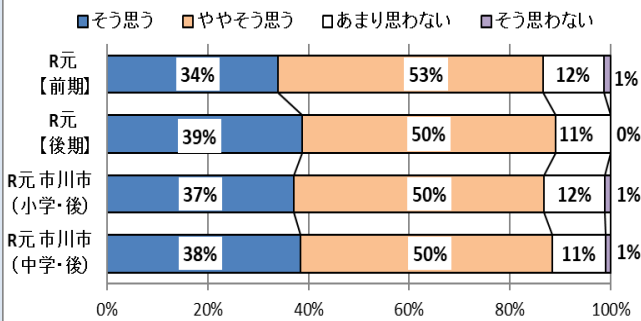
(1) アンケートの結果

保護者

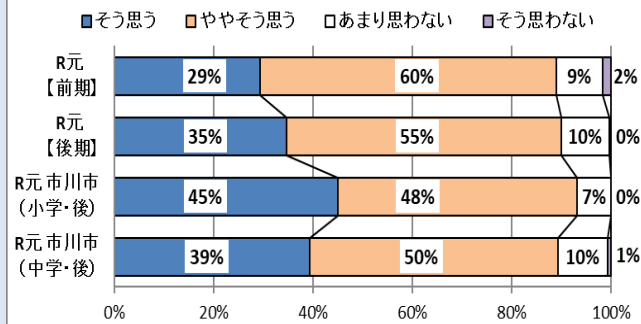
1. お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている



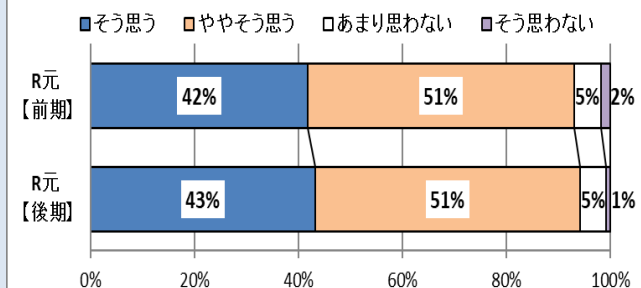
2. お子さんは自分の役割に責任を持って取り組んでいる



3. お子さんは、誰とでも優しく関わっている

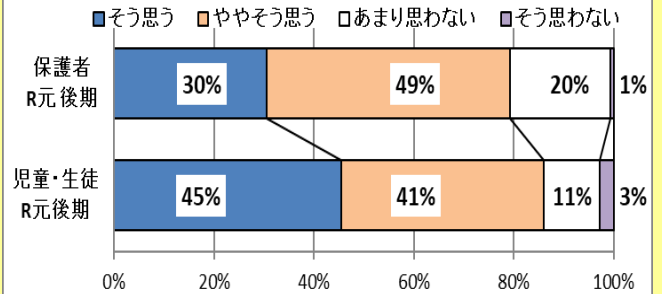


各種学校行事や体験活動を通して、心の成長が感じられる

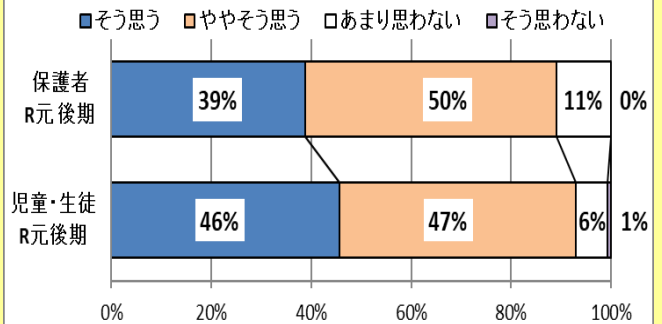


児童生徒・保護

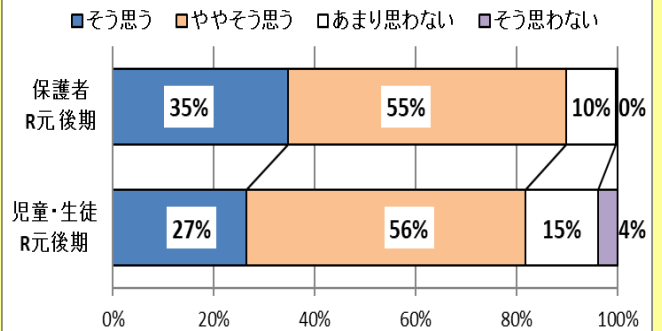
1 友だちや近所の人などに、すすんであいさつをしている



2 まかされた仕事に、責任を持って取り組んでいる

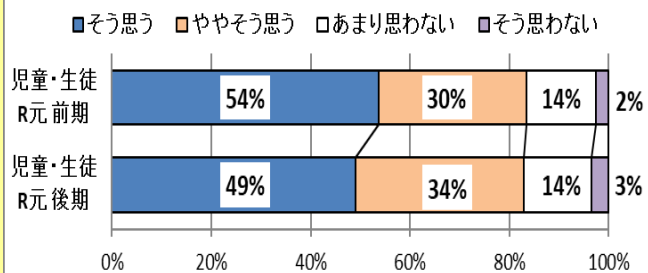


3 だれにでもやさしく、意地悪をしない

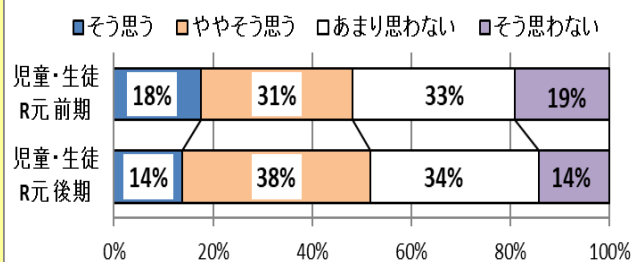


児童生徒

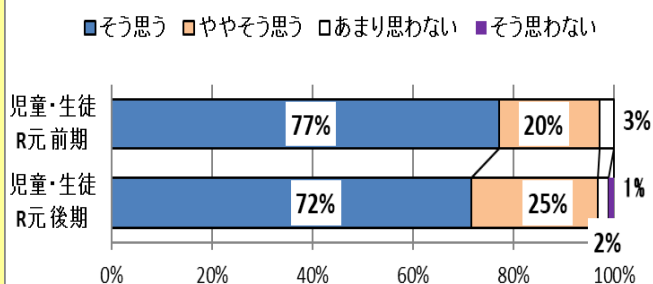
ほかの学年の友だちと話したり、いっしょにすることが楽しい



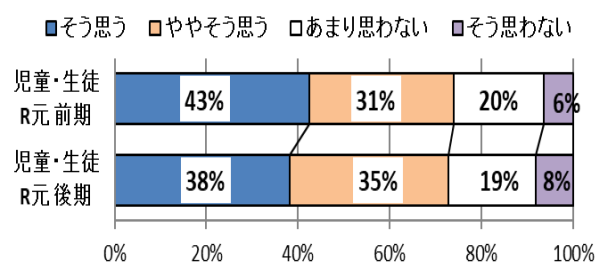
地域の方と過ごすことが楽しい



いじめは絶対にいけないと思う



学校であったできごとなどを、家の人に話をしている (R元新)



(2) 自由記述

| | |
|------|---|
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・わが子もお友達も挨拶ができるように育てたいです。お友達の家にお邪魔したときの挨拶も身につけてほしいと思います。 ・小さなことでも（軽く叩くなど）続いていると、大きないじめに繋がっていくので、見かけたら全先生達はやめさせるよう促していただきたい。相手が嫌がっていたとしても喜んでいてと勘違いし、周りの子たちも便乗し始めるので早めの対策をお願いします。 ・低学年内において多少の上下関係の言葉の暴力が存在している様子。子供のことだからと考えているのならしっかりと見直してほしい。人数が少ない分、根が深くなる可能性がある。同級生のケンカや言い争いは理解できるが、上の学年の子が下の学年の子をいじめるのは許せない。 <p>→ (※学校としては、学年に関わらず、暴言や暴力についてはしっかりとした対応が必要であると考えています。学校でもそのような行為が見られた場合は、事実を確認し対応いたしますが、保護者の方も何か心配な点がある場合には、担任へお伝えください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動が、今後どのように影響するのか等の、想像力を身につけさせてほしいです。小学校5、6年という通常であれば最高学年に当たる学年が中学年になってしまうことも影響しているのではないかと思います。のんびりしていてよいのですが、もう少し、厳しく規律を守らせる等も必要ではないでしょうか。 |
| 行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子レクの時に温かいいいクラスだなと感じました。お互いを認め合っているいい友達関係ができています。 ・少人数だからできる全学年での活動は、子供たちのつながりもでき、たくさん機会があればよいなと感じます。 ・塩浜学園にはいろいろな国籍の子どもが通っています。運動会など保護者が集まる行事等でそれぞれの国の民族衣装を着て入場したり、それぞれの国の言葉でアナウンスを入れたり、色々な国の人と交流できる塩浜学園の特徴を活かした取り組みを行ってみるのはどうでしょうか。 ・青空給食は各学年1人の子もいて、なかなかしゃべる相手もいなく、それで過ごすのはどうかと思う。もう少しバランスのとれた班にしてください。1～9年までしゃべらずにご飯を食べて何の意味があるかわかりません。 ・小学生の文化祭は見ごたえがあったが、中学生は本人自身があまり楽しめなかったようです。従来の中学生のみの学祭のように自由度のある生徒自ら作り上げるような精神年齢にあった学祭が必要だと思います。後期校舎に呼び鈴の設置をお願いしたい。→ (※設置しました) ・潮香祭を見に来る保護者が少ないなと感じました。(午後は特に) |

| | |
|-----|---|
| | → (※行事につきましては、お忙しい中、ご参観いただきありがとうございます。前述しましたが、次年度からは塩浜学園としての学校行事を見直す方向で考えております。) |
| 部活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活について、顧問の先生の連絡ミスが多く、遠征で他校に行くにも毎回集合時間を間違えて伝えており困ります。朝早くから自転車で遠くへ出かけることを考え、安全を考慮した指示をお願いします。 ・上級生から下級生への暴言、暴力があるようです。話を聞いている限りでもいじめではないかと思える内容です。早急に対応願います。→ (※対応いたしました) |

(3) 学校運営協議会の意見

- ・いじめについては、やってはいけないこと（SNSでのトラブル、無視、冷やかし、からかい、暴言、暴力等）を、具体的に説明し、指導していくことが必要である。特に低学年の子たちには細かく指導してほしい。
- ・学校での出来事は、保護者から子どもに聞かないと、なかなか子どもからは話をしないのが現状である。

(4) 現状の分析及び学校運営改善の方向性

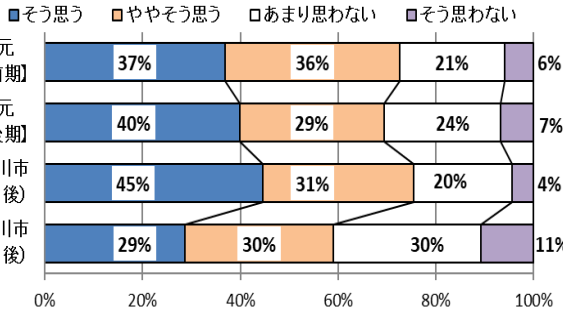
- 「挨拶」の保護者評価につきましては、前期・後期の評価ともほぼ変わりはありません。児童生徒の評価につきましては、前期評価と比較すると4%の増となっています。学校での様子を見ても、自分からすすんで挨拶をする児童生徒は確実に増えてきており、外部からの来校者の方々も、挨拶がよくなるという評価をいただいております。しかし、中には挨拶ができない児童生徒もいますので、引き続き声をかけていきたいと思っております。保護者の方々の挨拶運動につきましては、お忙しい中、本当にありがとうございます。顔見知りの保護者の方々と挨拶を交わすことで、子どもたちも嬉しそうな表情を見せます。引き続き、ご協力をお願いいたします。
- 「自分の役割に責任を持って取り組む」ことの評価は、保護者・児童生徒ともに前期評価よりも高くなっています。学校行事や委員会活動等を通じて、児童生徒により一層、責任感が生まれてきていると思っております。今後も、各学級や行事等、学校生活をとおして、児童生徒一人一人が主役となれるような場面を作っていきたいと考えています。
- 「誰とでも優しく関わる」、の児童生徒の評価が、前期評価に比べて低下しています。日常生活における異学年交流を充実させるなど、交流活動等をとおして優しい気持ちを育てていきます。
- 「いじめ」について、「そう思う」の割合が前期に比べて減少したこと、依然として「あまり思わない」という意見もあることについては学校としての課題であると捉えています。引き続き、様々な場面で（SNS等での誹謗・中傷を含め）「いじめは絶対にあってはならない」ということを児童生徒に訴えていきます。また、保護者の方々におかれましても、お子様の友人関係や様子が気になる場合がありましたら、担任にご連絡ください。
- 今年度、新たに「学校でのできごとを家の人に話しているか」という項目を、学校独自の評価項目として設けました。前期と比べても肯定的評価はほぼ変わりません。ご家庭の事情もいろいろあると思いますが、できるだけ、学校でのできごとを聞いてみていただけたらと思います。

3 「健やかな体」について

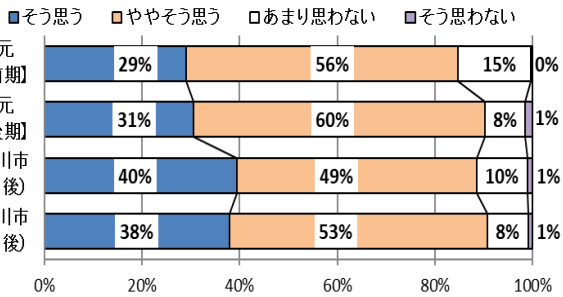
(1) アンケートの結果

保護者

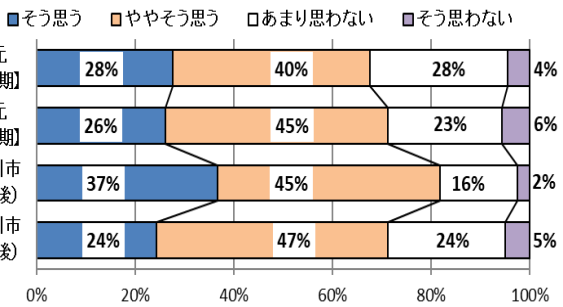
1. お子さんは、すすんで(外で遊ぶなど)体を動かしている



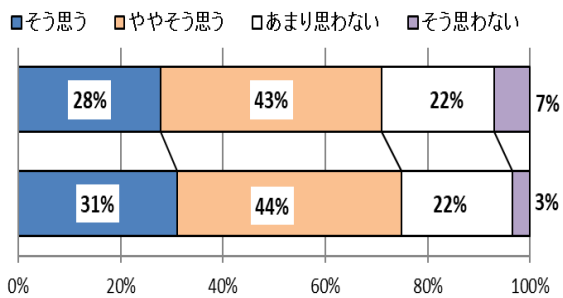
2. お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している



3. お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食生活など)が身についている

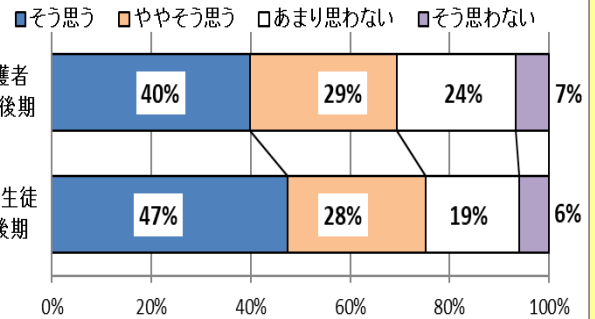


お子さんは、食後の歯磨きを行っている

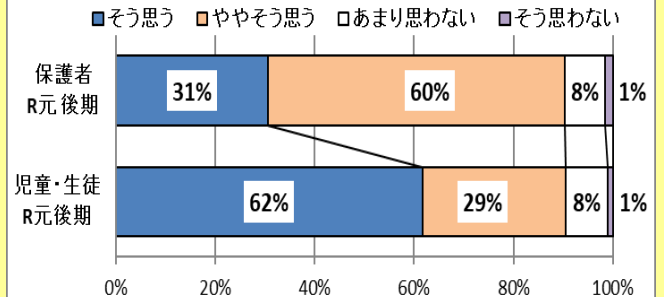


児童生徒・保護

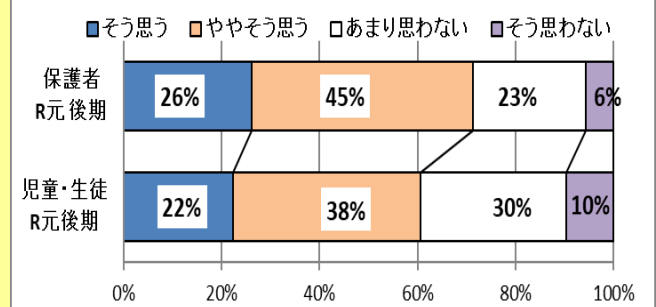
1. 外で遊ぶ・部活動など、すすんで体を動かしている



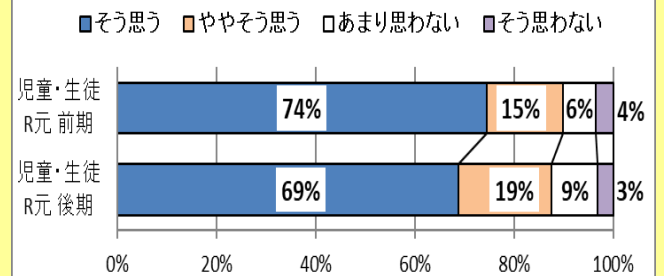
2. 交通事故やけがなど、安全に気をつけて生活している



3. 規則正しい生活習慣(早寝・早起きなど)が身についている



毎朝、欠かさずに食事をしている



| | |
|-----|---|
| 通学 | <ul style="list-style-type: none"> ・変わらず、自転車通学の子のルールがひどい。横に並んで走ったり、歩行者がいてもよけようとはしない。とても危険に感じる。→（※自転車の乗り方については交通安全教室や生徒指導日より等で注意喚起をしていますが、今後も継続的に指導していきます。） ・自転車通学者は体操服で登下校できるようにしてほしい。スカートの丈が長いため、車輪に引っ掛かりそうで危ないし、天気の良い日は汚れる。 ・運動部がわざわざ部活帰りに制服に着替える必要があるのか疑問。 |
| 安心 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全に学校建設をしてください。 ・不審者情報のメールが少ない、もしくは来ないです。近隣の富美浜小学校の保護者には南行徳駅周辺の不審者情報メールが届いているのに、塩浜学園の保護者にはメールが来ません。駅のほう（相之川）は塩浜地区から離れているという認識でしょうか。→（※不審者情報のメール配信については塩浜地区以外の情報をどのように収集し配信していくか検討していきます。） |
| 部活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・陸上部を作ってください。部活をやっていないので放課後家にいてばかりです。 ・部活動をもっと盛んにして活気ある学校にしてほしい。少人数のため廃部になってしまう部もあり残念です。 ・部活動に個人競技の陸上部を創部するとよいと思う。（他1件） <p>→（※部活動については、児童生徒数や顧問の確保等から、現段階では新しい部活動を作るのが非常に困難です。塩浜学園の部活動の在り方について、今後も学校全体で取り組んでいきたいと考えています。）</p> |

（3）学校運営協議会の意見

- ・早寝早起きができない子どもたちは、ゲームの影響等があるのではないかと。
- ・バス停付近、待っている児童を含め、バス停近くを走り回っている児童がいて、危険な場面があった。

（4）現状の分析及び学校運営改善の方向性

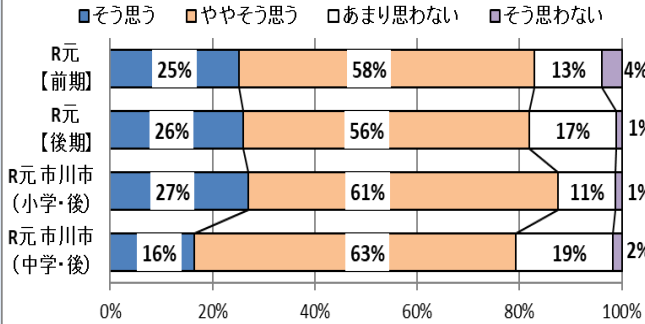
- 「すすんで運動する」ことの保護者の肯定的な評価は、前期に比べ低くなっています。児童生徒の評価も前期に比べると10%下がっています。今後、校舎の改築が進み、校庭等の工事も入る関係で、体を動かす場所についても工夫が必要となってきます。正課体育の充実を図りすすんで体を動かす習慣を身につけさせるだけでなく、健康の保持増進について理解を進めていく必要があります。
- 「自らの安全に気を付けて生活している」ことの評価について、保護者、児童生徒の肯定的評価の割合は変わりません。しかし、児童生徒評価の「そう思う」の割合が、保護者の「そう思う」の評価に比べ、約2倍になっています。これは、「塩浜ふるさと防災科」や避難訓練、不審者対応訓練等を通して、児童生徒が自らの安全について考える態度が養われてきていると考えます。今後も、学校教育活動の様々な場面で、自他の安全について考えることのできる態度を養っていきます。
- 「規則正しい生活習慣」の定着について、前期に引き続き、否定的な回答が保護者・児童生徒ともに多い結果となってしまいました。また、「毎朝、欠かさずに食事をしている」ことについて、否定的な評価が前期より高くなってしまいました。このことに付随するののか、この1年間を通して、登校時間に間に合わず遅刻をする児童生徒の割合も多いと思います。学校では、「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨していますが、基本的な生活習慣の定着には保護者の方々のご協力が必要不可欠です。よろしく願いいたします。

4 「信頼される学校」について

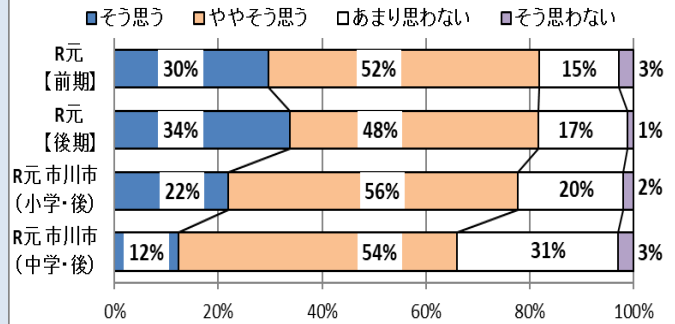
(1) アンケートの結果

保護者

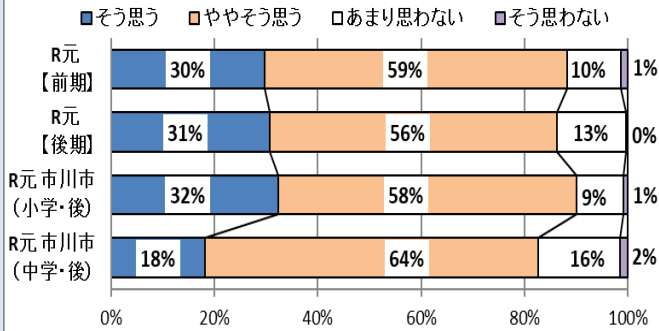
1. 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている(R元新)



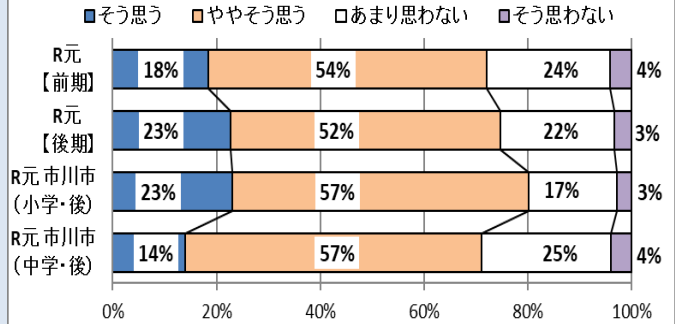
4. 学校は、特色ある取組や教育を進めている(R元新)



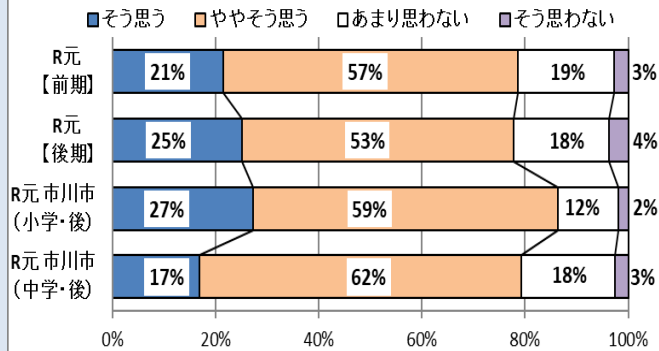
2. 学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている(R元新)



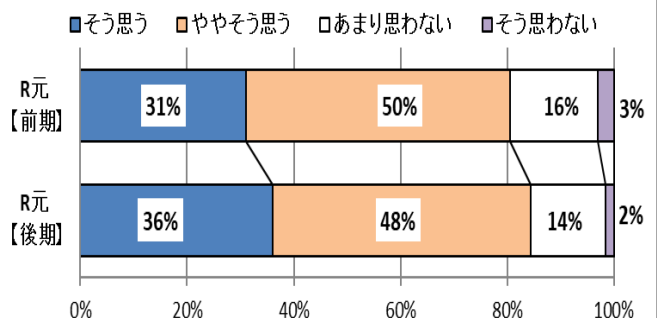
5. 学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている(R元新)



3. 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している



小規模や地域のよさを活かした教育活動が行われている



(2) 自由記述

| | |
|-------------|---|
| <p>運営全般</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートが何の役に立っているのかわからない。 ・このようなアンケートをしても改善されていないようです。 ・オープンスクール等参観日があるので、親子レクはなくてもよいと思う。(同様1件) ・特色のある取り組みがいまいち、よく理解できない。生かされていないのでは？ ・仕事終わりにPTA関連文書を投函するため訪問すると職員玄関が閉まっていた時があり、電話しても留守電で、中に残っている職員の人(明かりがともっていました。)に連絡できませんでした。→(※防犯上、最終下校時刻以降は玄関を施錠します、インターホンを取り付けましたので鍵が閉まっている場合は押してください。) ・時代の問題なのでしょうが、先生の立場がとても弱く感じる。親や子の苦情に反論することなく受け入れすぎ。その結果、子どもは生活態度も悪く、授業態度も悪い。その保護者はそんな自分の子に気づいていない。周りが迷惑している。 ・支援学級の開設楽しみにしています。(長年お願いしていました)知的の児童が学べる学級を作ってください。詳細を教えてください。→(※特別支援学級は令和3年度から開設予定で進んでいます。現段階では、詳細についてはまだ決まっています。) ・いつもお世話になりありがとうございます。うちの子は、塩浜学園が大好きと言っております。今後ともよろしくお願いたします。 ・自然的な皆と触れ合い、会談などを明るく楽しく過ごせたら良いと思います。 ・学校に通えていないため、アンケート全てに回答することはできませんが、先生方がよくしてくださるので、大変助かっております。いつもありがとうございます。 ・とても良い学校で今でも十分だと思います。 ・小学生の施設開放団体にも体育館を使わせてください。平日が無理なら土日のどちらかでもとても助かります。 ・新校舎の体育館の施設開放について、部活と時間帯がかぶると部活優先といわれていますが、そもそも小学校側の体育館を利用させてもらっており、塩浜の子たちも施設開放を利用している団体に所属しています。新体育館は2面になるそうですし、今まで小学校としての施設開放は継続してほしいです。中学校側の意見ばかりが通っているようで不信に思います。 <p>→(※学校施設開放につきましては、新校舎の状況を踏まえ、施設開放委員会を中心に今後対応していくこととなります。市教育委員会と連携を図りながら進めてまいります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎建て替え後の遊具の充実 ・スクールバスの導入。前期の1年次より通ってみたいと思うご家庭が増えるように思う。(同様6件) ・7～9年生の制服(夏)をポロシャツに変更してほしい。 ・後期靴の色はどうなったのか？ <p>→(※ポロシャツの導入及び通学靴の色の変更につきましては次年度から実施いたします。現6年生及び7・8年生には説明をし、HPに掲載いたしましたので、ご覧ください)</p> |
| <p>教育活動</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・町探検の後、学校に到着して解散となりましたが、子どもたちと一緒に給食をいただきながら探検した内容を振り返って話をして、子どもたちからの疑問や感想を聞きたかったです。 ・今のままでもよいと思います。 ・自然に触れる機会を増やしてほしい。 ・市立の小中学校の区切りと同じところで制約はあると思いますが、わざわざ小・中学校と切り離れた「義務教育学校」という位置づけであるということ、もっと思い切った学習内容や取り組みを行ってもよいのでは？と思います。何が違うのか今一つ実感がありません。例えば、5年より定期テストがある。学年を超えた英検、漢検対策講座を行い、全員受検する等。 |
| <p>教職員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業を拝見した際に教科書を一切出さない子がいたのですが、最後まで誰からも(先生からも)声をかけられることがなく終わっていました。何か理由があるのでしょうか、外から見た側としては授業に参加できず終わっていた印象でした。良いことにしろ、悪いことにしろ、言葉を一切かけられずに過ごす子の気持ちはどうなのだろうかと心配になった出来事です。また、小規模校ならではの偏った人間関係も垣間見え、本来持っているよさが発揮できない、見てもらえない子がいるように思えます。先生方は気づいていらっしゃるのでしょうか。 ・男性の先生の何名か、夏にTシャツ等で軽装だった時に、伸びをしたり上方向の動作をしたら、おへそや腹部の体毛が見えてた方がいて、うちの娘曰く、「非常に不快だった」とのことです。生徒は先生に注意されないよう、身だしなみに気を付けています。先生方も十分気を付けてください。特に女子はよく見えています。 ・叫んだり大きな声で恫喝する先生がいると聞いています。そういった指導は子どもたちの教育にとって良いのかよく考えていただきたいです。毎日、担任の先生や部活の顧問の先生方の話を聞きますが、良い話はありません。部活をやめたり、不登校になってしまふんじゃないかと心配しています。理不尽に怒鳴ったりするのはやめていただきたいです。 ・テスト中に試験監督の先生が居眠りしていることがあるようですが・・・先生もお疲れでしょうが、それでは監督にならないので、居眠りはされないようよろしくお願いします。 ・先生方に相談しても本音が返って来なく、事を複雑にしている。困って相談しても建前ばかり。昔は違ったような気がする。初心に戻してほしい。 ・先生方しっかりと生徒を見ていただいていると感じます。ですが、一部の先生に、生徒の思いをまず受けとらず、否定して生徒に圧力をかける方がいるようです。生徒たちが問題点を口に出し |

| | |
|-----|--|
| | <p>づらくならないか、心配しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生が背中を押してくださったおかげで、自分からは立候補しないような役に挑戦することができました。とてもありがたかったです。 <p>→ (※上記、ご指摘の事項につきましては、教職員で共通理解をし、改善をまいります。教師の態度、言動が子どもたちと与える影響は非常に大きいので、児童生徒一人一人に寄り添った指導ができるよう取り組んでいきます)</p> |
| 広報 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの担任の先生や部活の先生方はまめにお手紙等でクラスの様子や活動予定等、ご案内いただき、とても助かっています。お忙しい中感謝しています。 ・学年だより、部活予定表などの翌月予定表は月末に必ず配布してほしい。配布が遅い。月末にあった行事を載せたいなどわかりますが、毎月作成する連絡事です。予定表を優先して配布をお願いします。 |
| PTA | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA 活動をもっと減らしてほしいです。ひとり親家庭では仕事が優先なのでとても負担です。 ・今一度 PTA 活動の改善を検討してほしい。正社員で働いている親は平日の活動に参加するのは大変難しい。土曜日は平日に働いている分、子どもにゆっくり関わる時間にしたい。有休を使ってまで参加しなければいけませんか？有休がなければ欠勤になり減給されます。働いている、働いていないは関係ないと言われますが、本当にそうでしょうか？仕事を休んでまで参加しなければいけないのが平等ですか？先生方もそうだと思いますが、仕事を休むということのはかなりのリスクです。どうしてもなくてはいけぬ活動はないような気がします。 ・親子レクはなくてよいと思う。(オープンスクール等あるため) PTA 活動を減らしてほしいです。 ・他、減らしてほしい (1件) |

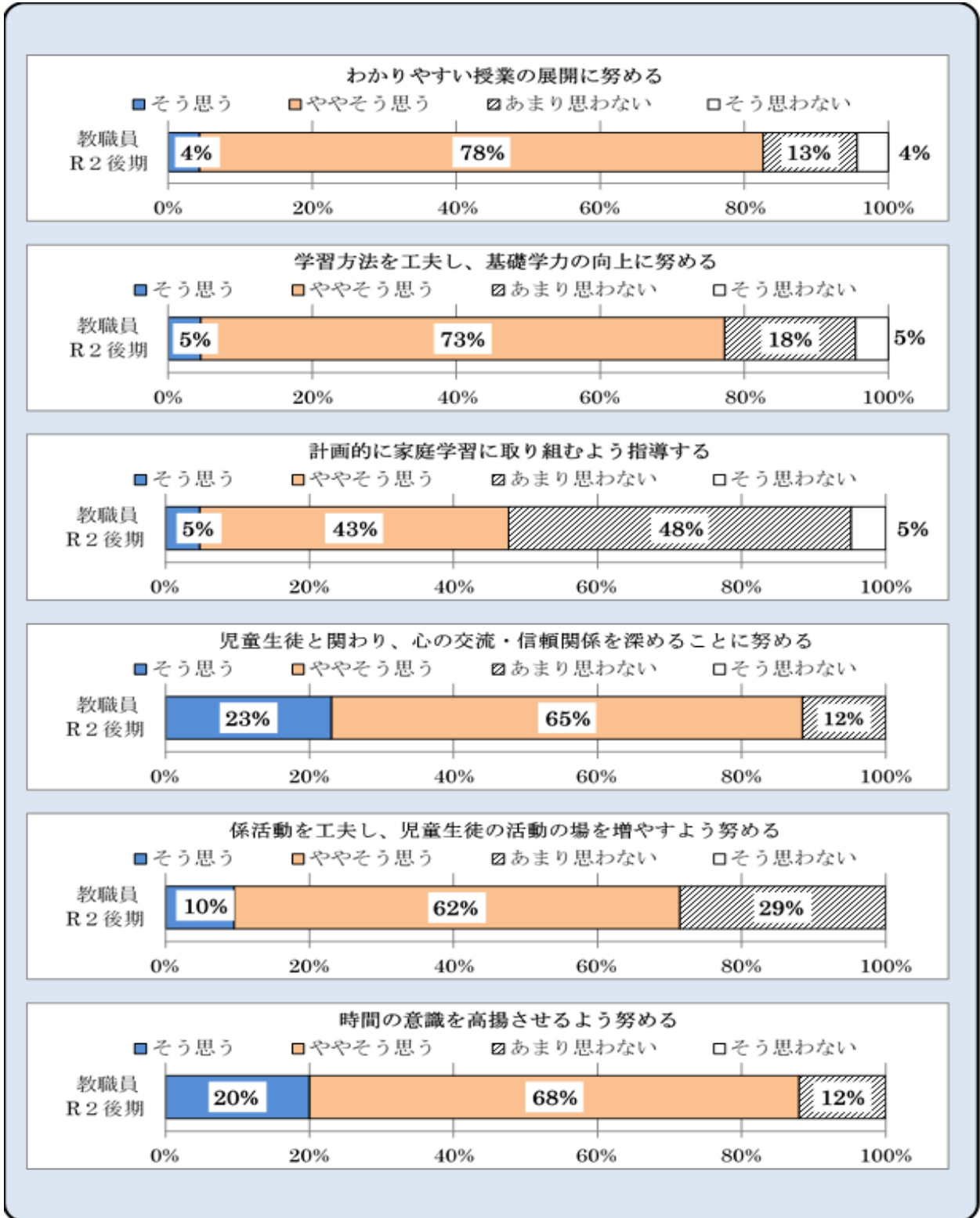
(3) 学校運営協議会の意見

- ・少人数指導が効果があると思う。
- ・不登校生徒への支援、家庭訪問など先生方はよくやっている。
- ・小規模校や地域の良さを生かした活動をしていくと、もっと良くなると思う。
- ・80%の評価項目を100%にするよりも、60%の評価項目を底上げしていくほうが児童生徒の満足度も上がるし、教職員に達成感が強まるのではないかな。
- ・塩浜学園の教育の取り組みや目指す児童生徒像の読み直しをすることが大切。子どもと親の意識のズレ、例えば家庭学習は時間だけの比較ではなく、学習の質にも目を向けてほしい。
- ・「塩浜学園で学んでいるからこんな人になれるんだ」「塩浜学園の子どもたちを一言で言う？」を学校で考え、誇りやアイデンティティにつながる言葉を紡ぎ出すことも必要。子どもたちの持つ期待を日常の学びの中で、アンケート結果をもとにしていけるようにしてほしい。

(4) 現状の分析及び学校運営改善の方向性

- 前期評価の際にもお知らせしましたが、今年度より、市内共通質問のうち1・2・4・5の4項目が新しくなりました。
- No1の「学校経営方針等の保護者への理解」、No2の「子どもを育てるための学校・保護者・地域の連携」についての肯定的評価は、前期比より若干の低い評価になりました。本校では、「塩浜ふるさと防災科」をはじめ、様々な場面で地域の方々に協力をいただき、教育活動を進めています。また、保護者の方と連携し、子どもたち一人一人の成長を支えるようにしています。今後も、充実した教育活動を展開するために、保護者・地域の方々と連携を推進するとともに、学校経営や目指す子どもの姿について、学校だよりなどの文書に加え、オープンスクールや保護者会の場を通して、保護者・地域の方々に理解されるように努めてまいります。
 - No3の「保護者の願いに適切に対応」することについての肯定的評価は前期と変わりありませんでした。保護者の方々の思いや願いも一人一人違うことを受け止め、今後も教育活動を進めていきます。
 - No4の「特色ある取組や教育の推進」ですが、前期の評価に引き続き、市内小中学校の評価よりも高い評価となりました。しかし、自由記述にもありますが、特色ある取組について、課題を把握し、改善していくものも必要と考えています。
 - No5の「子ども一人一人への適切な指導や支援」ですが、前期評価よりは若干高い評価となりました。現状の評価に満足することなく、子どもたち一人一人を大切に指導や支援にあたります。
 - 「小規模・地域の良さを生かした活動」は、前期評価よりも「そう思う」の割合が高い評価となりました。今回の学校評価を通じ、学校として課題を把握し、改善できるところは改善に努めてまいります。

5. 教職員アンケート



(1) 学校運営協議会の意見

- アンケートの記述に厳密な表現と工夫がほしい。「〇〇に努める」と「〇〇できる」は重いと意識の違いがある。「努める」とあるならば、「そう思う」と書けるようになってもらいたい。先生方の思いの強さがやや低いのが気になる。

(2) 現状の分析及び学校運営改善の方向性

- 「わかりやすい授業の展開」「基礎学力の向上」についてです。日常の授業は学校生活の根幹となるものです。基礎学力の定着及び学力の向上については本校の一番の課題でもあります。教師自身がわかる授業の展開に努め、子どもたちに「できた」「わかった」を実感させながら授業を展開する必要があります。今後も教師の授業力向上を目指し、取り組んでまいります。
- 「計画的に家庭学習に取り組むように指導する」では、アンケート結果をみていただくとわかるとおり大きな課題が残りました。保護者アンケートにもありましたが、1日1ページノートの在り方を含め、各教科において家庭学習の具体的な取り組みを学校全体で検討していきます。
- 「児童生徒と関わり、心の交流・信頼関係を深めることに努める」では、12%ができていない評価となりました。学校教育活動は、児童生徒との信頼関係なくして成り立ちません。このことを全職員が強く意識して教育活動にあたることができるようにしていきます。
- 「児童生徒の活動の場を増やす」ことの評価ですが、29%が、その場を設定できなかったと回答しています。本校は小規模校で、誰でも活躍できる場を設定しやすい利点を生かす必要があると考えます。